

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年2月17日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第6週 2016年 2月 8日 ～

2016年 2月 14日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	196	88	127	76	294	122	234	315	459	1,911	5	12	60	65	79	111	138	135	157	129	125	390	51	58	126	131	65	54	15	5

小児科

報告定点数 31 ケ所
設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	1				1		2	4	4	12	2	3	4	3										
咽頭結膜熱	1	1	1				3			6		3			1				1			1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	7	3	1	4	2	4	14	27	67		1	1	3	2	7	12	9	3	10	5	14		
感染性胃腸炎	16	9	11	11	45	11	37	52	17	209	4	7	24	19	25	13	14	11	8	5	11	32	6	30
水痘	1				1			3	5	10			3	2	2	1			1				1	
手足口病																								
伝染性紅斑	1	2	1		3			6	5	18	1		2	2	2	4	2	4	1					
突発性発疹	2		1				1	3		7		3	4											
百日咳																								
ヘルパンギーナ																								
流行性耳下腺炎	1	2			5			1	5	14					1	3	2	3	1	2	1	1		

インフルエンザの定点あたり患者数は39.81人となり、警報レベル（同30人以上）を超えました。警報レベルは本格的な流行を示す指標です。全ての区で患者が増加し、学校や幼稚園から連日学級・学年閉鎖が報告されています。これまでに検出されたウイルスは2009年に新型インフルエンザとして流行したA/H1pdm09が全体の過半数を占めて最も多くなっています。今シーズン神戸市では抗インフルエンザ薬に耐性のあるインフルエンザウイルスはは現在のところ検出されていません。感染予防としてこまめな手洗い・うがい、マスク着用を心がけ、高齢者や妊婦、基礎疾患のある方、疲労気味の方などは人混みや繁華街への外出を控えましょう。

眼科

報告定点数 10 ケ所
設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	2		1							3															1	1	1		

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○アデノウイルス感染症1例：年齢・性別不詳（6101）
東灘区○細菌性腸炎（カンピロバクター）：5～9歳男（6102）
灘 区○マイコプラズマ感染症1例：0～4歳男（6202）
垂水区○アデノウイルス感染症1例：0～5歳女（6802）
垂水区○病原性大腸菌感染症1例：性別・年齢不詳（6804）
西 区○細菌性腸炎（カンピロバクター）1例：10代男（6901）

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

**インフルエンザの定点あたり患者数は39.81人で
警報レベルを超えました。（先週は29.40人）**

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向 「検索」

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

（トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向）

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年2月17日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年2月11日	2016年2月11日	2016年2月13日	/	血液培養法	ショック、DIC 急性呼吸窮迫 症候群	創傷感染 (口唇潰瘍)	血清群:A群
男	40代	2016年2月9日	2016年2月12日	2016年2月12日	/	壊死軟部組織培養法	ショック、軟部 組織炎、全身性 紅斑性発疹	飛沫感染	血清群:A群

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0-4歳	2016年2月1日	2016年2月5日	2016年2月6日	/	血液培養法	発熱、咳、 菌血症	不明	
男	0-4歳	2016年2月10日	2016年2月10日	2016年2月16日	/	血液培養法	発熱、咳 痙攣、菌血症	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 播種性クリプトコックス症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	30代	不明	2016年1月18日	2016年2月4日	/	ラテックス凝集法による クリプトコックス 荚膜抗原の検出	胸部異常陰影 骨病変	不明	

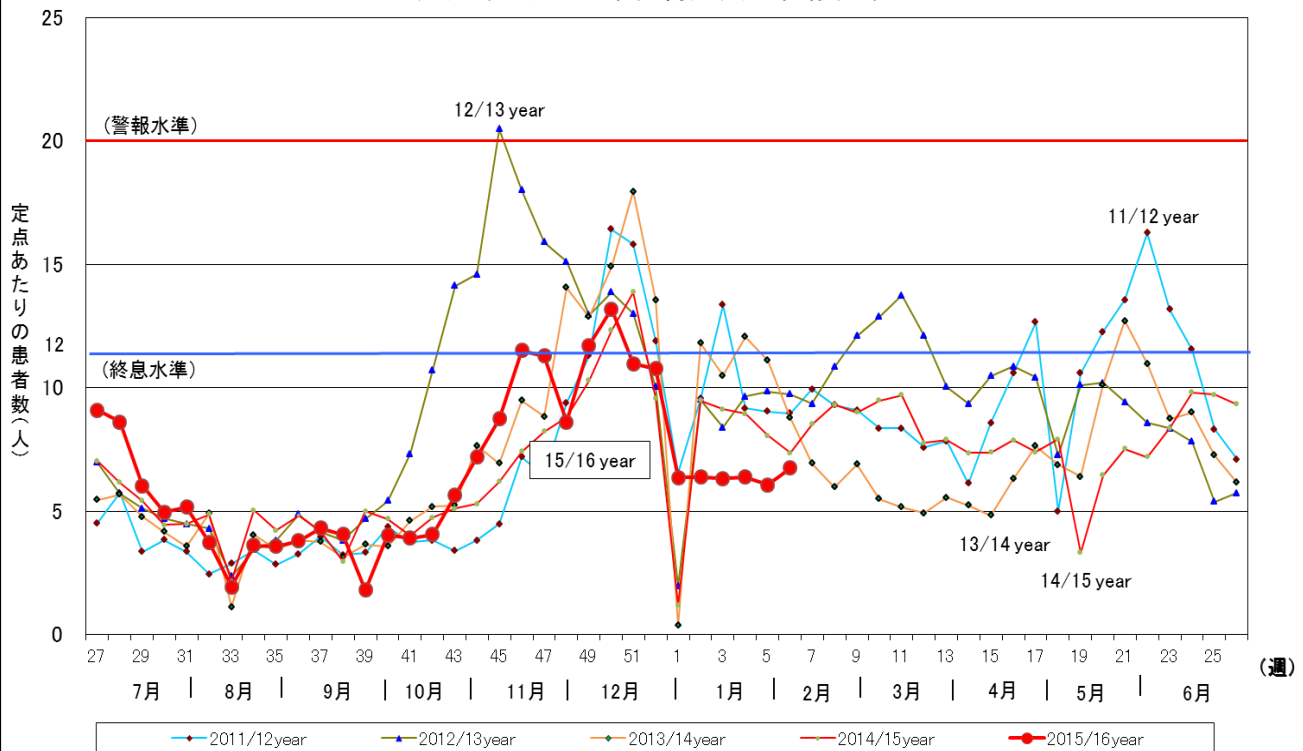
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2016年1月上旬	2016年2月12日	2016年2月12日	早期顕症 梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	梅毒性バラ疹	同性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス (A/H1pdm09)	鼻腔拭い液	中央	5歳9ヶ月女児(2/1採取、39.4℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	垂水	4歳女児(2/1採取、39.8℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	咽頭拭い液	中央	46歳男性(2/3採取、40℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔拭い液	須磨	5-10歳男児(2/8採取、発熱あり、インフルエンザ脳症、ワクチン未接種)
B型インフルエンザウイルス (山形系統)	鼻腔拭い液	中央	5歳1ヶ月女児(2/1採取、39℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	須磨	54歳男性(2/1採取、37.8℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	須磨	7歳4ヶ月女児(2/5採取、40.0℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
環境保健研究所からのコメント: 神戸市において検出されたインフルエンザA/H1pdm09ウイルス(2016/1/13～1/27採取分)9株について、抗インフルエンザ薬の効果を調べる試験を実施したところ、全て感受性でした。			

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



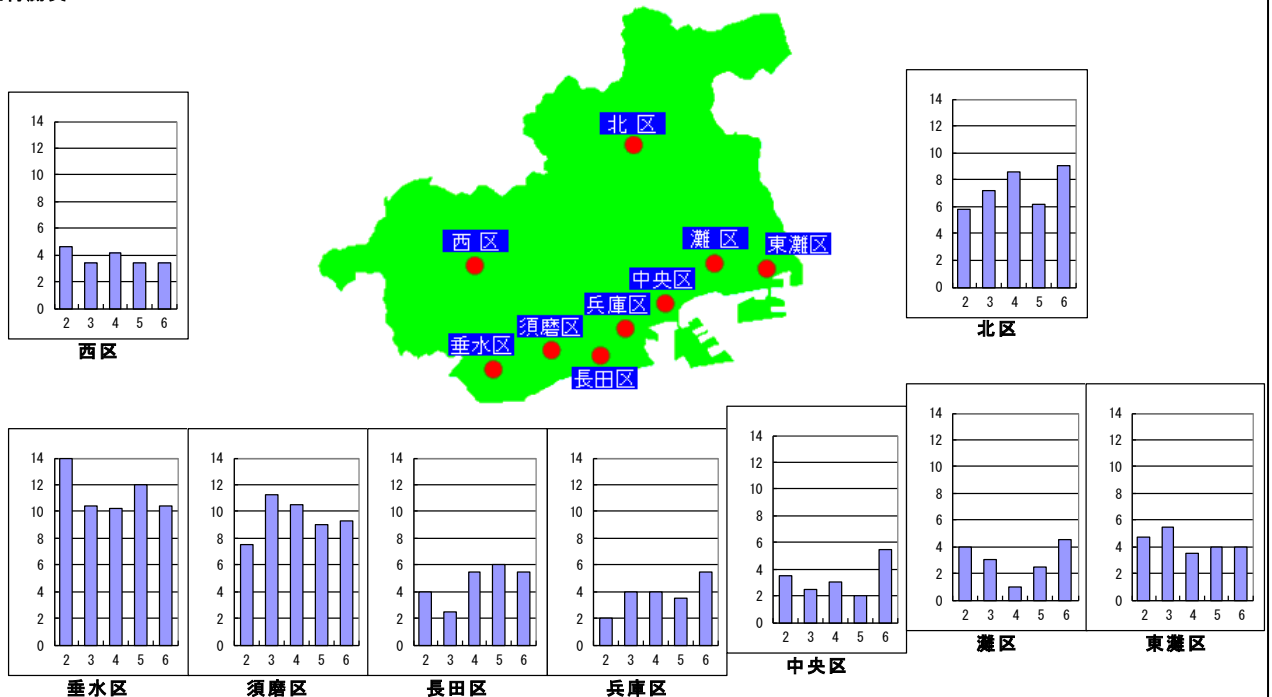
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 2 週 平成28年1月11日

～

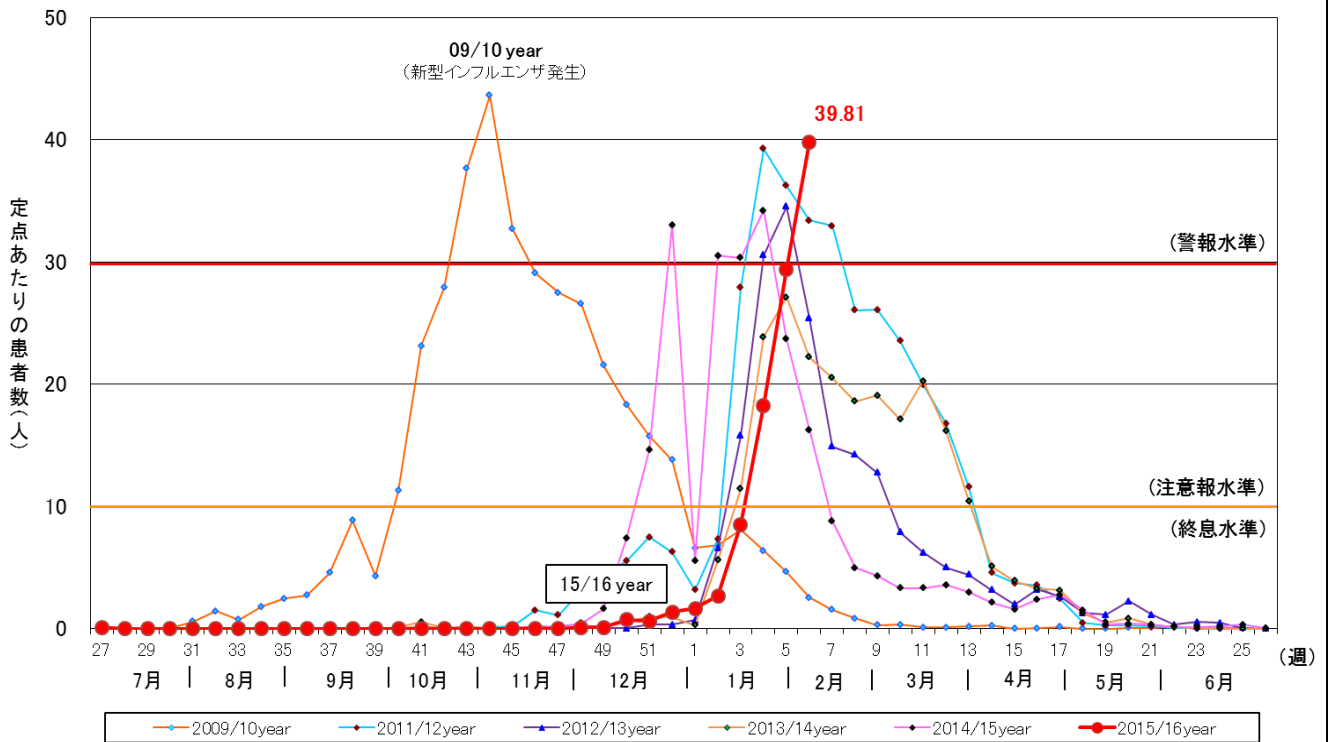
第 6 週 平成28年2月14日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数



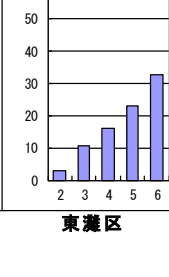
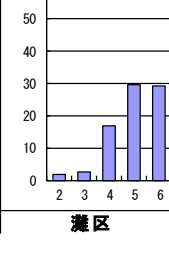
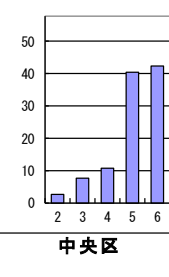
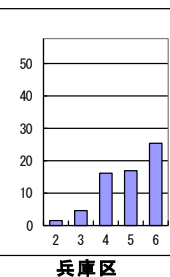
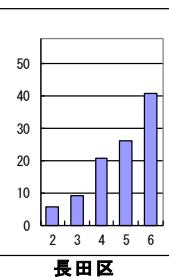
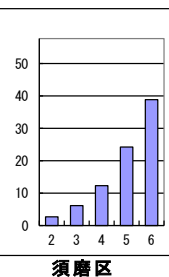
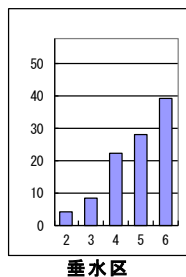
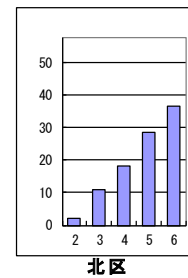
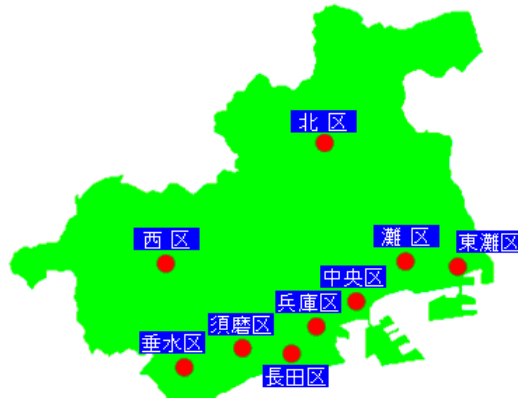
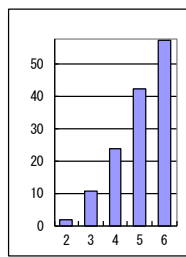
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 2 週 平成28年1月11日

～

第 6 週 平成28年2月14日

インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。